

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱		市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	健全な青少年を育成するために	取組の 基本方向	「健全な青少年を育成する」ため、青少年が社会の一員として役割と責任を果たしていくための「青少年の社会的自立の促進」、青少年が非行や問題行動などを起こすことなく、健全に生活していくための「非行・問題行動の未然防止」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	青少年自身が規範意識を持ち、非行や問題行動を起こすことなく、社会の一員として充実した生活を送っています。
--------------	--	----------------------	----------------	----------------	-------------	---	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	非行・問題行動の未然防止						④施策の達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)			
	②施策目標							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標				
青少年が非行や問題行動を起こすことなく、健全に生活しています。							④ 達成率	実績値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----	%		
③施策を取巻く環境	国・県等の 動向	国においては、「青少年インターネット環境整備法」や「出会いサイト規正法」を制定するなど、青少年を取り巻く社会環境の浄化を推進している。						指標① (総合計画に基づく指標)	巡回指導による被指導者数(人)	-----	3,500	3,500	3,500	3,500		3,500	-----
		青少年を取り巻く環境の変化に伴い、非行や問題行動に対する青少年自身の規範意識が低下している。青少年犯罪の低年齢化・凶悪化している状況。						指標②	地域における延べ巡回指導活動実施回数	-----	840	840	840	840	840	-----	
外部意見 その他	平成22年3月の社会福祉審議会からの提言において、青少年巡回指導活動や地域の安全安心と子どもの健全育成のための市民総ぐるみ環境点検活動などのさらなる推進により、地域ぐるみで子どもの非行の未然防止に取り組む必要があると指摘されている。					指標③			-----						-----		
						指標④ (特記事項)	非行少年総数(刑法犯・特別法犯・ ぐ犯少年総数)	-----	620	612	547			-----			

意 重 要 度 ↑ ↓ 低	施策の _____ %	施策の _____ %	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	地域における巡回指導活動実施回数の目標値に対する達成率は90%以上である。加えて、非行少年総数はここ数年減少している。	⑦ 現状分析と課題の抽出 ③ を え 分析	成果が見られる点	青少年巡回指導員による被指導者数は横ばいであるが、一般市民や小中学生の保護者を対象とした一日巡回指導や非行防止講演会の実施などにより、ここ数年の青少年犯罪は減少しており、一定の成果があがっている。
	高 優先して力を入れていく ことが求められる領域	95 90 80 75 70 65 60 55 50 45	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	青少年犯罪件数は減少しているものの、犯罪の低年齢化などの新たな課題も出てきており、市民意識調査においては施策重要度が昨年よりも4.8ポイントアップしている。今後はさらに青少年の非行・問題行動の未然防止に力を入れていく必要がある。		改善の必要な点	家庭環境の向上につながる親への意識啓発を充実し、非行・問題行動の未然防止を図る。
	見直し・効率化が 求められる領域	0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50	適切性 (適切な事務事業の 選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	青少年犯罪件数は減少しているが、万引き件数は依然多く、一日巡回指導体験、非行防止講演会、万引き防止キャンペーンなどの事業を実施し、市民意識の高揚や親への意識啓発など家庭のモラルを高める工夫を行う必要がある。			
	低	← 低 満足度 高 →	有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	ここ数年の青少年犯罪件数は減少しており、有効な取組とはなっているが、万引きの件数は依然多く、家庭や地域もきめたモラルの低下に対する新たな取組の強化が求められている。			

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	青少年の非行・問題行動の未然防止には保護者や地域住民の理解と見守りが必要不可欠であることから、地域における巡回指導活動や環境点検活動などにより、継続して有害環境の浄化や非行の未然防止、問題行動の早期発見に努めていく。	➡	⑨政策評価 会議意見	・青少年の非行・問題行動の未然防止には、保護者や地域住民の理解と見守りが必要不可欠であり、巡回指導活動や環境点検活動など、今後も継続して有害環境の浄化や非行の未然防止、問題行動の早期発見に努める。 ・青少年犯罪件数は減少しているが、万引き件数は多いことから、一日巡回指導体験や万引き防止キャンペーンなどを実施し、市民意識の高揚や親への意識啓発など家庭のモラルを高める工夫を行う。 ・家庭のモラル向上につながる親への意識啓発を充実するため、一日巡回指導や非行防止講演会をはじめとした啓発活動について、より効果的な実施手法を検討する。
	重点事業	青少年非行防止対策事業について、巡回指導活動の向上を目指すとともに、青少年を支える家庭をターゲットとした啓発活動を実施する。			
	見直し事業	家庭環境の向上につながる親への意識啓発を充実し、非行・問題行動の未然防止を図るため、家庭のモラル向上を目的とした一日巡回指導や非行防止講演会を実施する。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度 (A~C) ※施策目標 に対する 寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針	
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)				
1	青少年非行防止対策事業	青少年(20歳未満)	S39	延べ巡回指導活動参加人数	5,200	5,200	14,582	14,789	A		巡回指導活動をはじめ、地域での青少年の見守りが最近の少年犯罪の減少につながっていると思われる。今後とも関係機関との連携を深めるとともに、市民意識の高揚と積極的な市民の協力を得るため、一日巡回指導体験、非行防止講演会、万引き防止キャンペーンなどの事業を実施し、啓発活動をさらに充実させ、青少年の非行の未然防止に努めていく。	
					4,737	4,552						
	担当課			子ども未来課	非行相談件数	50						50
						91						133
施策事業費合計					14,582	14,789						